



社協はしま

発行所 / 社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会 〒501-6255 羽島市福寿町浅平 3 丁目 25 番地(福祉ふれあい会館内)
TEL058-391-0631 FAX058-391-0632

「わあ!いっぱいだね!」

～いもほり交流会(社協竹鼻支部)～

- 紹介 P2 ・ 第39回羽島市社会福祉大会を開催しました
- 紹介 P4 ・ 福祉協力校活動紹介
「あったか言葉・あったか仲間」でいっぱい。正木小学校
- 紹介 P5 ・ わが街のボランティアさん
- 案内 P6 ・ 地域包括支援センター
(高齢者総合相談センター)
- 案内 P7 ・ 児童センターだより
- 募集紹介 P8 ・ ふれあいインフォメーション

No.

201

2017.11.1
隔月発行



「社協はしま」は共同募金の配分金により作成しています。
本紙に掲載の写真の一部は「はしま写真会」により撮影されたものです。

第39回

羽島市 社会福祉大会 を開催しました

9月2日(土)に、不二羽島文化センターにて、「第39回羽島市社会福祉大会」を開催し、当日は千名以上の方々にご来場いただきました。

この大会は、社会福祉関係者や住民が一堂に会し、地域での福祉活動に関する共通の理解を深める契機と



▲笑いあり、涙ありで引きこまれました



▲ご尽力に感謝の意を込めて

表彰状を贈呈しました

大会の式典において松井聡名誉会長（羽島市長）、中畑弘会長から地域の福祉推進にご尽力いただいた方々へ、その功労を讃え表彰状と感謝状の贈呈を行いました。

なお、今年度は、13名の方に表彰状を、44名の個人・団体に感謝状を贈呈しました。

することなどを目的に毎年開催しているものです。

タレントの宮川花子さんをお招きし、「花子のいきいきライフ」をテーマにご講演いただきました。

花子さんは、自分が病に倒れた時に、夫婦や家族の絆の大切さを実感したということを、面白おかしく、一方では涙をさそう巧みな話術で語り、会場を沸かせました。

大好評！
「福祉講演」



▲大助さんがサプライズ出演

さあ、体を動かしましょう♪

羽島にここに体操

羽島市社会福祉協議会では、介護予防を図ることを目的とした「羽島にここに体操」の普及を図っています。

新井いきいきクラブ（正木町）の介護予防教室では、毎回羽島にここに体操を行っています。

いすに座ったままでも、楽しく体を動かすことができます。



動画は
こちらから
※DVDの貸出も
行っています



この体操を行っている団体を紹介しますので、希望される場合は、本会（☎391-0631）までご連絡ください。

みんなのやさしい気持ちを 集める活動です

共同募金運動が始まりました！



今年も10月1日より、全国一斉に赤い羽根でおなじみの共同募金運動が始まりました。毎年多くの方々のご理解、ご協力により社会福祉事業の充実・発展に役立っています。

岐阜県共同募金会羽島市支会では、10月2日の早朝より、JR岐阜羽島駅前にて啓発を目的とした街頭募金活動を実施しました。

当日は、羽島高校のボランティアの皆さんにもご協力いただくことができ、忙しい通勤・通学の時間帯にも関わらず、多くの方が募金に協力してくださいました。

市内ではどのように使われているの？

駐車場フェンス整備 (竹鼻保育園)



ありがとうメッセージ
安心して子どもたちを送迎できます。

高齢者の見守り活動 (社会福祉協議会)



ありがとうメッセージ
見守りのおかげで、安心して暮らせます。

調理機器(オーブン)更新 (足近保育園)



ありがとうメッセージ
よりスムーズに調理ができるようになりました！



お問い合わせ

岐阜県共同募金会羽島市支会 Tel 391-0631
羽島市福寿町浅平3丁目25番地 (羽島市福祉ふれあい会館内)

「あったか言葉・あったか仲間」で いっばいに 正木小学校



正木小学校では、地域の方の協力を得ながら、学校や地域に「あったか仲間」「あったか言葉」を広げていく活動をしています。

あいさつでいっばいに

今、正木小の児童会では、あいさつに力を入れていきます。あいさつを増やすために、児童会で何度も話し合い、委員会がキャンペーンを行ったり、6年生が曜日ごとに校門に立ってあいさつをしたりしています。

2学期に入り、さらにあいさつを増やすために『あいさつロード』を企画しました。0のつく日に3年生以上の児童が道を作り、登校してくる児童にハイタッチをしながらあいさつをするボランティア活動をしています。また、その様子を昼の放送で流し、全校へ広めています。



▲ハイタッチしながら元気よく

初めの頃に比べて学校内での元気なあいさつが増えてきています。地域でも元気なあいさつが聞こえてくるようにこれからもがんばって取り組んでいきます。

あったか言葉でいっばいに

毎年、校内を「あったか言葉」でいっばいにしよう



▲いっばい集まりました

という取り組みをしています。自分が言われてうれしかった言葉や心が温まる言葉から、一人ひとりがこれから使っていきたい「あったか言葉」を考えて廊下に掲示し、『あったかロード』を作りました。そんな「あったか言葉」を広めようと、福祉委員会では「全校よいこと見つけ」を行い、他学年のよさを見つけ、伝え合う活動を行いました。

た「あったかエピソード」の紹介を毎日、放送で行い、全校が温かい言葉で包まれました。

わたしたちに できることを一つずつ

○総合的な学習の時間



▲段差がありますよ

4年生の子どもたちが、一学期にアイマス・白杖体験・車椅子体験をしました。障がいのある方の役も、介助役も体験する中で「少しの段差でも怖かった。」

「介助役の子が言った『あと少し』はどれくらいかわかりにくかった。」「どんな声をかけたらいいのか、とても考えながら活動した。」と気づくことがたくさんありました。

今後も、高齢者体験・点

字体験や、バリアフリーについての調べ学習を通して、障がいのある方や介助する人の気持ちや苦労・工夫やその思いを考えていきたいと思っています。

○敬老会の手伝い

9月16日(土)に正木小学校体育館で行われた敬老会で、福祉委員会の児童がその手伝いをしました。

体育館入口で、靴を入れるビニール袋を高齢者に手渡しました。「お荷物をお持ちしましょうか。」「靴を袋にお入れしますね。」という思いやりのある言葉をかけ、高齢者の方の手を引きながら、席まで案内しました。その際、「お席までご案内します。」「前の席の方が、よく見えますよ。」という自分たちで考えた温かい言葉をかけることができました。

今後も自分たちに出来ることが何かを考え、一つずつ行動できるようにしていきたいと考えています。

わが街の

ボランティアさん

羽島市内で“いきいき”と活動中のボランティアグループを紹介します。

津軽三味線 美せん会



活動内容は？

趣味の津軽三味線を活かして、ふれあいサロンや高齢者福祉施設で利用者とふれあう活動をしています。

活動日 依頼に応じて不定期で活動

活動場所 主に羽島市内

会員数 6名

飛び入り

飛び入り参加
大歓迎!!



「リンゴ節」「嘉瀬の奴踊り」「津軽あいや節」などの津軽民謡の他に、「ソーラン節」「炭鉦節」など、各地の民謡の演奏が聞けるので、ちょっとした旅行気分も味わえます。



／楽しい踊りもありますよ／



活動をしてよかったことは？

ボランティア活動を通して、たくさんの方と出会うことができました。皆さんとふれあうことで、気持ちが和み、元気をもらうため、誰かとふれあうことは大切だなと感じます。また、演奏が終わると「よかった!」「上手だね!」などの言葉をいただくことができ、「あ～喜んでもらえてよかった」とうれしい気持ちになります。

今後の目標は？

現在、「津軽じょんがら節」を頑張って練習しています!もっと利用者に喜んでもらえるよう、みなで稽古を頑張り、レベルアップしたいです。

ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険にご加入の皆さまへ

もしも事故が起こったら？

現在、羽島市社会福祉協議会に登録しているボランティアは2,763人（9月末日現在）です。その活動内容は、高齢者や障がい者との交流活動、生活支援、子育て支援、災害に関する活動など様々です。

一方、ボランティア活動にともなう事故も、全国では毎年約2,400件前後発生しています。

安全に注意を払っていても、事故はいつ・どこで起こるか分かりません。もしも事故が起こってしまった場合、どのような手続きが必要なのでしょう。

<事故の例>



障がい者福祉施設でのボランティア活動中に、施設の備品を壊してしまった。



介護予防教室の参加者が転んで骨折した。

事故が起こった場合は、応急措置などの必要な初期対応を行い、すみやかに社会福祉協議会へ事故の内容を報告してください。



羽島市地域包括支援センター（高齢者総合相談センター）



高齢者の総合的な相談・支援をします!!

シリーズ認知症②

認知症の症状

— 行動・心理症状 —



前号では、脳の細胞が死んでしまうことによって、直接出てくる症状のひとつの「中核症状」を紹介しました。今回は、本人がもともと持つ性格や環境、人間関係など様々な要因が絡み合って起こる症状を紹介します。

次に挙げる症状の一例は、「行動・心理症状」といい、現れる症状や時期などは一人ひとり異なります。

① うつ症状

能力の低下を自覚して元気がなくなり、引込み思案になることがあります。

② 不安・焦燥

今まで出来たことが上手く出来なくなり、自信を失い全てが面倒になることがあります。

③ 幻覚・妄想

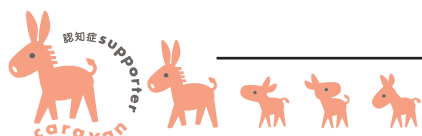
現実ではないことを、いかにもあるかのように強く思い込んでしまうことがあります。

④ 徘徊

昔の記憶やその時の気分が、家の中や外を歩き回るといって現れることがあります。

次号のシリーズ認知症では、日頃の生活管理と早期診断・治療についてご紹介します。

参考:政府広報オンライン



小学生も認知症サポーターに

9月26日（火）に福寿小学校の4年生の児童の皆さんを対象に、認知症サポーター養成講座を行いました。「認知症ってなんだろう」を一緒に学び、自分たちにできることを考えました。

※地域包括支援センターでは、今後もより多くの方々と認知症について一緒に学びたいと考えています。この講座に興味・関心のあるグループや団体の皆さんは、お気軽に下記までお問い合わせください。

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんの介護、健康や福祉、医療に関するご相談を受け付けています。
お気軽にお電話ください!!



羽島市地域包括支援センター
（高齢者総合相談センター）

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館内



【日 時】 **12月23日(土)**
 開場 12:30
 開演 13:00 終演 15:00
 【場 所】 不二羽島文化センター みのぎくホール
 ※チケットの取扱いはありません
 【参加費】 1席 900円(全席指定)
 【対 象】 3歳以上
 【主 催】 「子育て支援クリスマスハッピーコンサート」実行委員会

チケット好評受付中!

児童センタークリスマス会

親子で楽しみましょう♪

【日 時】 12月15日(金)10:30~11:30
 【場 所】 児童センター アリーナ
 【内 容】 クリスマスクラフト・サンタさん登場!
 【対 象】 乳幼児と保護者
 【定 員】 50組
 【参加費】 乳幼児1人につき100円
 【申込期間】 11月1日(水)~14日(火)

はっぴーサロンコーナー

● はっぴーサロンクリスマス会
 ~みんなでティーパーティしましょう!~

【日 時】 12月8日(金)10:30 ~ 11:30
 【場 所】 児童センター アリーナ
 【対 象】 乳幼児と保護者
 【定 員】 30組
 【参加費】 1組400円(ケーキ・お菓子など)
 当日集金
 【申込期間】 11月1日(水)~14日(火)

※将来、子育て支援活動に携わりたい方も見学(体験)していただけます。お気軽にお問い合わせください。

はしま子育て支援チーム 「ほっとブレイクデー」

【日時】 11月8日(水)・12月13日(水)
 10:00~12:00

【場所】 児童センター 図書室
 コーヒーまたは紅茶とパンのセットで
 130円です。

お問合せ: ☎090-3447-8082(馬場)
 お気軽にご参加ください。

※11、12月の「子育て講座」は、お休みいたします。

全てのお申込みについて

開館時間内に、各専用申込用紙に記入して児童センター事務室の申込箱に入れてください。
 1グループ2組までお申込みになれます。
 ※定員以上の申込みがあった場合は、公開抽選を行います。

お申込み・お問い合わせは

羽島市児童センター (羽島市福祉ふれあい会館4階)
 ☎391-1226 FAX391-1622
 e-mail: jidokan@hashima-shakyo.or.jp
 インターネットURL <http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>
 休館日: 毎週月曜日、第1・3日曜日、祝日

気づいたら 見て見ぬふりせず声かけよう

お金を貸してくれと言われた。



80代のお母さんと、軽い知的障がいがある50代の息子さんで暮らすお宅のことです。お母さんの入院を機に、息子さんが家計の管理をしているらしいのですが、どうやら計画的にお金を使えていないようです。

見て見ぬふりができないので、息子さんに声をかけたところ、「お金を貸して欲しい」と言われたので社協に連絡しました。

連絡を受けた社協の職員が訪問し、息子さんから話を聞くと、母親の入院費を支払ったことでお金がほとんどなくなり、食料品の購入や各種料金の支払いができなくなってしまったとのことでした。そこで、制度を活用して食料の支援と当面の生活費を確保することとしました。また、生活保護制度の活用ができないかを市役所に相談することになりました。



※本人が特定できないよう、実際の事例を脚色してあります。

キャンペーン「知らんぷりしないで、関わろう!」

他人への干渉を必要以上に避ける人や、他人のことに無関心な人が増えています。これらのことが地域住民の抱える問題を潜在化させたり、深刻化させたりする原因のひとつとなっています。



ふれあい インフォメーション

募集

「福祉関係当事者団体 助成金」助成希望団体

福祉関係の当事者団体が、平成30年度に、その会員を主な対象として行う、研修会や交流会などの経費の一部を助成します。

- ① 対象
羽島市内に活動拠点のある障がい者等の当事者団体で法人格がないこと
- ② 申請時に会員数が10人以上であること
- ③ 申請時に団体の活動実績が1年以上あること
- 助成額 10万円（上限）
- 助成を希望する団体は、12月11日(月)までに、申請書を羽島市社会福祉協議会事務局（☎391-0631）までご提出ください。

介護予防運動教室 運営協力者

6月から8月まで実施した「介護予防ボランティア養成講座」修了者の皆さんに協力していただき、10月から来年3月末までの日程で、介護予防運動教室を実施しています。

この教室の運営に協力してくださる方を募集します。

活動日時
毎週火曜日の9時から12時頃まで

活動場所
羽島市福祉ふれあい会館

締切
11月30日(木)
備考
12月6日(水)に行う研修を受講していただきます。

活動を希望される方は、教室の見学などをしていただけます。詳細は、羽島市社会福祉協議会事務局（☎391-0631）までお問い合わせください。



羽島市福祉ふれあい会館 案内

- 4F 羽島市児童センター
- 3F 羽島市発達支援センター
発達教室もも・相談室もも
- 2F 地域福祉活動センター
- 1F 羽島市社会福祉協議会事務局
羽島市福祉ボランティアセンター
ふれあい介護支援センター
羽島市地域包括支援センター

